

自転車 の基礎情報



平成30(2018)年3月20日 No. 27

シティ車 チェーン引き

シティ車は、チェーン引きという部品を装着しています。このチェーン引きは、ロードバイクやMTBなどに代表される多くのスポーツバイク(トラックレーサーなどを除く)には装着されていません。

チェーン引きは、多くの場合銀色で、後部にある小ギアのフレームの端に装着され、チェーン引きボルト、チェーン引き座金、チェーン引きナットから構成されています。

シティ車に長期間乗っていると、主にチェーンのピンとブッシュ(右下図参照)が摩耗し、チェーンが伸びてたるんだ状態になります。このときに、チェーン引きにより、たるんだチェーンの張りを正常な状態に調整できます。

では、チェーン引きはどのように働き、チェーンの張りを調整するのでしょうか。

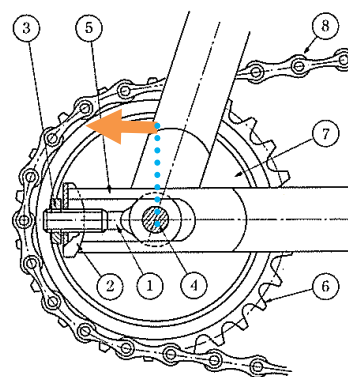
この張り調整は、チェーン引きに取り付けられているチェーン引きナットを締め込むことによって、後車輪ハブ軸の位置を後方に動かし、このことによりチェーンを正常な状態にします。そして、走行中、後車輪ハブ軸の位置を一定に保持する役割もあります。

実際の作業では、後車輪ハブ軸がナットによって固定され、後ブレーキのワイヤーなどもフレームに固定されているので、これらを緩めてから作業しないと後車輪ハブ軸を動かすことはできません。緩めないまま作業をするとチェーン引きが傷んでしまう恐れがあります。個々のシティ車の状態により、作業方針が異なることがあるので注意が必要です。

ところで、チェーンの張り調整では後車軸を固定しているナットを緩め、再度固定する重要な作業を伴います。走行中などに後車軸を固定しているナットが緩み、後車軸が動いてしまうと、大きな事故につながる恐れがあることは容易に想像できると思います。

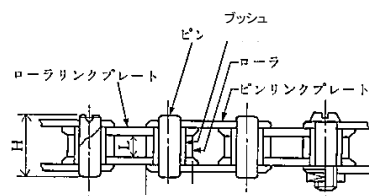
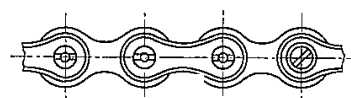
チェーンの張り調整には専用の工具が必要ですので、自転車販売店に必ず作業をお願いしてください。

今号で「自転車の基礎情報」は最終号となります。現在、タイトル、内容、発行回数等を一新し、さらに内容を充実させ、新たなニュースを発行する計画を進めています。これまで誠にありがとうございました。



部番	品名	部番	品名
1	チェーン引きボルト	5	後づめ
2	チェーン引き座金	6	小ギヤ
3	チェーン引きナット	7	フリーホイール
4	後車輪ハブ軸	8	チェーン

チェーン引きのフレームへの取り付け例
(自転車実用便覧 第4版から抜粋加工)



ローラチェーンの構造と各部の名称
(自転車実用便覧 第4版から抜粋加工)

<発行>

一般財団法人自転車産業振興協会

〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階

電話: 03-6409-6922 FAX: 03-6409-6868 URL: <http://www.jprior.jp>